

リニアは夢の乗り物か？

No.70 ストップ リニアニュース

2025
6月27日開業時期が見通せない「リニア中央新幹線」
～相模原市はこどもたちに何をのこすのか？～

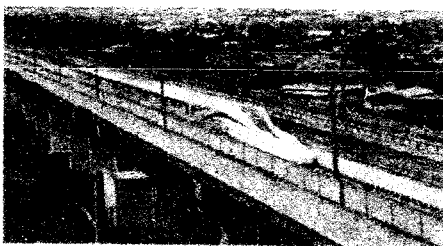
1. 沿線の工事現場で地盤沈下・水涸れ・気泡の流出など問題山積

岐阜県瑞浪市大湫（おおくて）町で、トンネル工事が原因で水位低下と地盤沈下が起きている問題で、6月3日の住民説明会で、JR東海は「水位を回復させる代替案の検討は難しい。そのため、湧き水を止める薬剤注入の中止を決めた」と明らかにした。

JR東海が行った「環境影響評価」はずさんなものであり、環境影響評価法に違反する違法なもの。（4月24日、ストップ・リニア！訴訟控訴審第5回口頭弁論での岡本浩明弁護士）

町田市でも、調査掘進で民家の庭に酸欠空気（気泡）、地下水噴出の重大事故、セグメントの不具合も生じたが、JR東海が6月に本掘進に向けて説明会を実施。地元では「住民の財産と健康などに甚大な被害を及ぼす可能性がある」と本掘進の前に事故原因を住民が納得するまで説明するよう求め続けています。

相模原市内の工事現場でも自然・生活環境破壊が推し進められています。人権侵害の各地域での実態を一人でも多くの市民に伝えていくことが大切ではないでしょうか？（建部）

2. リニア技術は未完成、今もガスタービン発電。最後部の車両
屋根に排煙口

2025/5/5 産経新聞 写真
(本記事とは無関係)

JR東海工事事務所が認め次の通り回答（2025/5/15）「超電導磁気鉄道技術委員会において「営業線に必要な技術開発は完了した」（2011年）と評価されている。車上電源の供給の誘導集電方式の電源装置は、山梨実験線42.8Kmの、一部区間の距離にのみ設置されているため、電磁誘導の装置が設置されていない区間についてガスタービン発電を行っている。」しかしガスタービン発電は大量の軽油を使うため、2018年に中止になりました。

交通技術ライターの川辺謙一氏は、著作「超伝導リニアの不都合な真実」（2020年発行）の273Pでリニア実験車両の映像を示し、「屋根が黒ずみ、陽炎がたっておりガスタービン発電装置が作動している証拠です」誘導集電方式が「まだ技術が十分に磨かれていないことを指します」と指摘。現に山梨実験線車両基地内で2019年10月電源装置から出火、作業員3人が重軽傷、今年の5月21日車内の電源装置で火災、消防車が出動。

リニアの車上電源は超電導磁石34台の冷凍や、照明、空調、油圧装置などに使われ、その電源の供給を誘導集電方式と呼んでいます。車両内で使う電力をどうやって賄うのか注視していきたいと思います（松本）

3. 驚愕！暴挙！ 百年のクスノキ命脈絶たれる！ ～私たちは忘れない～

2025年4月17日、久しぶりの橋本駅南口スタンディングで、黒岩知事名の伐採工事通告看板を発見。4/21～4/24実施とのことに、クスノキ愛の近隣者に知らせ、4/21朝8時半に住民13名が集結し、朝日、毎日、神奈川新聞とフリーの記者も取材する。“抗議書”を県職員に渡し、“大きなクスノキ”合唱。21日は業者準備、22日枝払い、23日には完全に切り倒された。今は根元がブルーシートで覆われている。

5月14日保管された幹を現相原高校を訪問し見せてもらい、環境緑地科の先生、クスノキプロジェクトの1年生8名と懇談。市民から旧校舎の緑環境、歴史を伝えた。

相模原市の空洞率60%の言説を裏づける痕跡は何処にも見当たらない！クスノキ百年の歴史は、無謀な国策リニア事業の犠牲にされたことを問い続けたい！

1922(大正11)年当時の相原村村民180名の土地とお金の寄付によって、相原農蚕学校(相原高校)は創立された。関東大震災、太平洋戦争、東日本大震災等、地域の歴史を見守った創立記念樹クスノキは県民・市民の公共財、自然文化遺産だ。13.7haに及ぶ広大な跡地は、今や“リニア開発”でゼネコン、大手不動産等の市場と化した。クスノキの命脈を絶った黒岩県政、本村市政の大罪を問う。SDGs都市は何処へ？(“橋本の緑と安心を守る会” 浅賀)



2025. 4. 23 カナロコより



相原高校に保管されているクスノキ

4. 「3/15リニアとわたしたちの暮らし～ 次世代のためになっているの？～」開催しました



イベントのタイトル

リニア新幹線の計画には多くの問題がありますが、この大規模開発について次世代のためになっている事業なのか？という観点でみなさまにお話するイベントを企画しました。リニア新幹線神奈川県駅の工事が進む相模原市緑区にある橋本公民館に70名もの市民が集まりました。次の内容についてお話をさせていただきました。①リニア全体の問題点②まちづくりのためになっていないという指摘③住民の懸念の声。そして最後にリニア事業は次世代のためにならないのではないかという話で締めくくりました。

参加者の声を紹介します。「決してあきらめずに・・・市民の声を尊重した街づくりをみんなで進められますように」「潤水都市相模原として森、山、川を守る市にしたい」「対話が重視される政策開発をして欲しい」「相模原の街づくりを崩壊させる構造が篠田さんのお話から見えた気がした」参加された市民のみなさまの声を聞いて、情報をお知らせする重要性をあらためて認識しました。これからもみなさまとともに私たちの暮らしに根差した開発とは何かを考え、次世代に負の遺産を残さないよう活動をしていきたいと思います。(田淵)

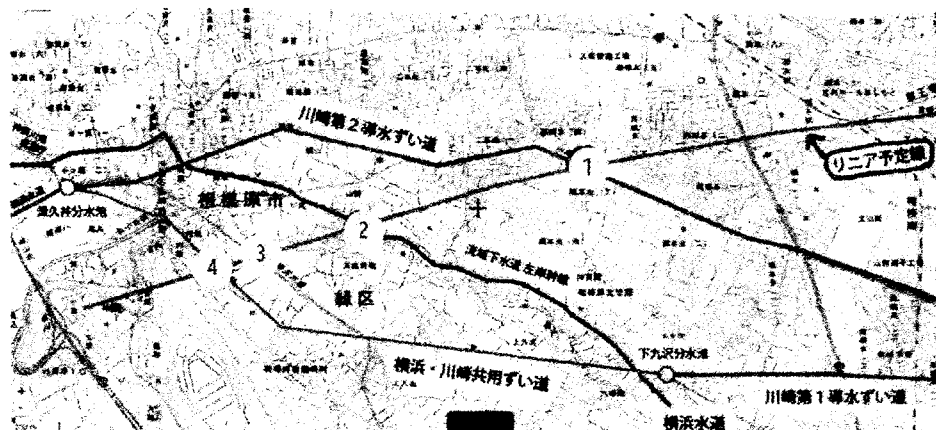


イベント来場者

5. 地下で上下水道管と4か所で交差するリニア（橋本～相模川間）

いつも何気なく使っている水道や下水道、事故が起きると大きな影響がでることを、今年1月の埼玉・八潮市の下水道破損による陥没事故は示した。

リニアトンネルは、橋本から相模川までの間（3.6キロ）、4か所で水道管、下水道管と交差する。①橋本台・トヨタメトロジックセンター前で川崎市の水道管と、②県営大島団地近くで、神奈川県・流域下水道左岸線と、③カインズ付近で横浜水道と、④相模川に近い大島で横浜・川崎共用ずい道と交差する。



リニアトンネル関係図

特に危険なのは、橋本台（西橋本4丁目）での川崎市の第2導水ずい道との交差だ。導水ずい道は地表から37～38mの場所にある。リニアの土被りは約20.6m、リニアトンネルは直径14m、その下にずい道。リニアとの距離はわずか2.4～3.4mしかないことになる。ずい道の直径は3.5m、川崎市の発展に伴う水需要に対応するため1968年につくられた大型のトンネルで、相模湖と津久井湖からの水が通る。地下の変動は1センチでも大変だという。さらに地下の調査はむずかしい。JR東海は川崎市議会にはリニアトンネルとの高低差は4mと答えているようだが…。他の②③④はリニアトンネルとは20mほどの距離があるが、決して安心とは言えない。（河村）

6. 大西大通り新設計画 事業認可未取得で戸別訪問開始！市の暴挙に怒りと抗議の声

2023年3月相模原市は、リニアのトンネル計画の真上に道路か？！と驚くような都市計画道路事業を決定。しかし移転対象の約100軒のうち多くの家は納得していません。そのため市は事業認可取得の手続きが出来ず事業を進められない中、市道認定の手続きを先行して3月議会で可決させ、5/14から戸別訪問を開始しました。より丁寧な説明と対応を名目に、補償と測量の話まで進めようとしています。反対する住民の声を聞き取りました。

○代替え地無しは論外、10年先死ぬまで絶対反対を続ける、と職員に伝えた ○戸別訪問する法令根拠を聞いても答えられない、即刻中止するべきだ ○住民の意見を取り入れず市道認定の手続に抗議、我々の心情は更に悪化した ○市の稚拙な手法による、地権者に賛同と測量の承諾を求める陥れには簡単に乗らないことが必要 ○戸別訪問で気の弱い人は追い込まれ精神的にやられてしまう ○戸別は情報の共有ができない、全体でやるべきだ ○現道を整備すれば十分、道路新設の必要は全く無い ○駅前まちづくり計画がズサンなのに、何百人も移転させる方を先に進めるのは理不尽 ○そもそも庁内で道路計画が出たときに住民に何の話もなく勝手に決めた ○この道路は国のガイドライン無視、都市計画法に違反する行政行為により推し進められている。法令は現存の市道大西線の活用が正しいと判断している。三回目の市長との直接対話を実施すべきだ。（桜井）

□イベント等情報

6/14、6/15の作業で、とうとう新タープテントが完成！

ミシン上級者の方の参加もあり完成。ランチ、カフェタイムの用意を含め2日間で延べ18人が作業に協力してくれました。

★鳥屋トラスト地での作業のお知らせ

と き 7月12日(土) 9:00~15:00(終了時刻は予定)

集合場所 9:00 渡戸自治会館駐車場

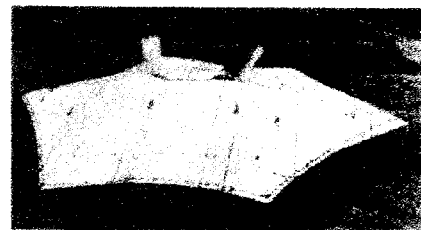
作業内容 デッキの修繕・タープテントの張り替え作業など

持ち物 飲み物・昼食(今回、コーヒーのサービスは無)

服装 長袖・長靴など(ヒル対策は事務局で準備します)

主催:「リニア新幹線を考える相模原連絡会」

<連絡先>河内正道(070-1076-1615)



～ドキュメント、百年のクスノキが伐られた～私たちは忘れない～映像記録をみて、まちづくり等語り合う～集会

とき:6月29日

場所:ソレイユセミナールーム1

時間:午後2時から4時

参加費:300円

連絡先:090 4378 9257(浅賀)

□主な裁判の予定

工事認可の取り消しを求める(行政訴訟)

・7月24日(木) 13:30~東京高裁第6回口頭弁論

・10月30日(木) 13:30~東京高裁第7回口頭弁論

*東京地裁差し戻し審は目下、進行協議中

活動はみなさまのご支援によって支えられています。
ぜひ私たちを応援してください。

郵便振替口座:00240-7-71305

名義:リニア新幹線を考える相模原連絡会

リニア新幹線を考える相模原連絡会

発行者:代表 浅賀きみ江

住所:相模原市緑区東橋本2-6-2

tel:090-4378-9257

ブログ <https://linearsagamihara.hatenablog.com/>

X <https://twitter.com/tv8aD60PIgYXFFE>



blog



X

2025年6月27日発行